

阪神東部（猪名川流域圏）地域総合治水推進計画

＜ 近畿地方整備局猪名川河川事務所における
主要な取組み＞

(1) 河道掘削、堤防拡幅等

- 尼崎市において、気候変動対応後の河川整備計画に基づき、河道掘削工事を実施して流下能力を向上させます。また、同市において、島の内水害に強いまちづくりプロジェクトの一環である、堤防拡幅及び橋梁接続工事を実施し、早期に地域の安全性向上を図ります。
- 概ね10年間での実施予定数量は掘削約30万m³、堤防拡幅約1.0km、橋梁接続1箇所であり、令和6年度からは猪名川藻川合流点～阪急猪名川橋梁の区間にて河道掘削（浚渫）、東園田町の堤防拡幅及び藻川橋橋梁接続を実施していきます。

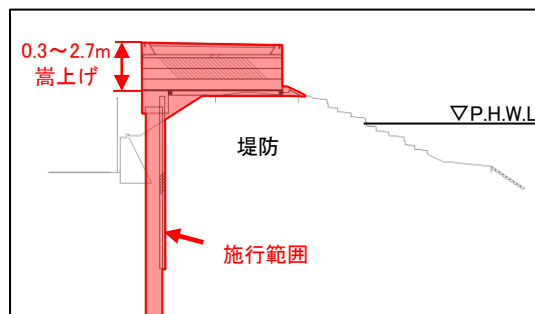
猪名川位置図（次期計画期間実施予定）



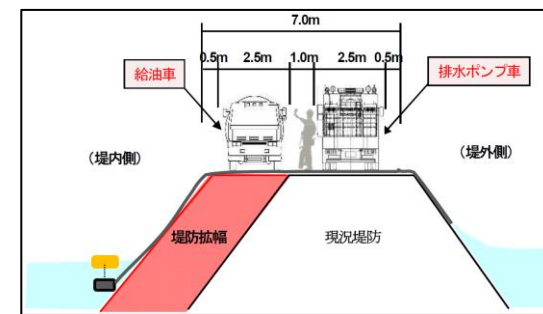
橋梁接続イメージ図



河道掘削（浚渫）工事写真



橋梁接続横断面図



堤防拡幅イメージ図

(2) マイ・タイムライン作成講習会の開催

- マイ・タイムラインとは、住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、大雨によって河川の水位が上昇する際、自分自身が取る防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のことです。
- 猪名川河川事務所では令和4年度に「マイ・タイムライン作成の手引き（猪名川河川事務所版）」を作成しており、河川レンジャーによる地域住民の方に向けたマイ・タイムライン作成講習会を開催することで、水害リスクの認識の向上に努めています。

東園田町6丁目地区のみなさま

防災講座

水害は他人事と思いませんか？
自分の命、大切な人の命を守るために！

マイ・タイムライン

(我が家の洪水避難プラン)

作成講習会開催のご案内




(阪神電線) (神崎橋)

昭和13年の阪神大水害の時、猪名川では島の内地区をはじめ多くの地域が浸水したことは知りませんでした。

どのような行動が必要なのか事前に決めておきたいけど、わからないな・・・

地域から「逃げ遅れゼロ」を目指すために、水害に対する知識・知恵を共有する防災講座を行います。

日時 2023年 **10/15(日)**
10:00～11:30

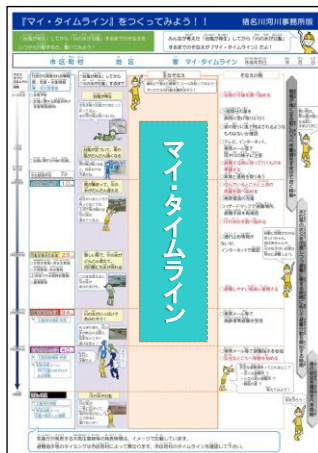
会場 **東園田町総合会館 3階ホール**

■防災講座の内容(約2時間程度；休憩あり)

- ◇マイ・タイムラインを知る。
- ◇猪名川の水害を知る。
- ◇マイ・避難カードを作成する。
- ◇マイ・タイムラインを作成する。

<マイ・避難カード>

<主催>東園田町会 6丁目地区 (後援)猪名川河川事務所・尼崎市 <問い合わせ先>06-6493-7166 大谷



マイ・タイムライン



河川レンジャーによるマイ・タイムラインの説明状況

(3) 災害対策用機械の操作説明・操作訓練の実施

- 猪名川河川事務所では、大規模災害時における災害対策用機械の操作要員確保に向けた取り組みとして、災害協定に基づく兵庫県建設業協会等からの要員派遣を想定し、災害対策用機械の操作説明・操作訓練を実施しています。また、国土交通省及び自治体の職員向けにも災害対策用機械の操作説明を実施しています。
- 参加者からは「災害時に協力できるように勉強させて頂きました」「災害時に活動するためには、このような訓練の経験が必要ですね」等の感想をもらいました。



阪神東部（猪名川流域圏）地域総合治水推進計画

<一庫ダム管理所における主要な取組み>



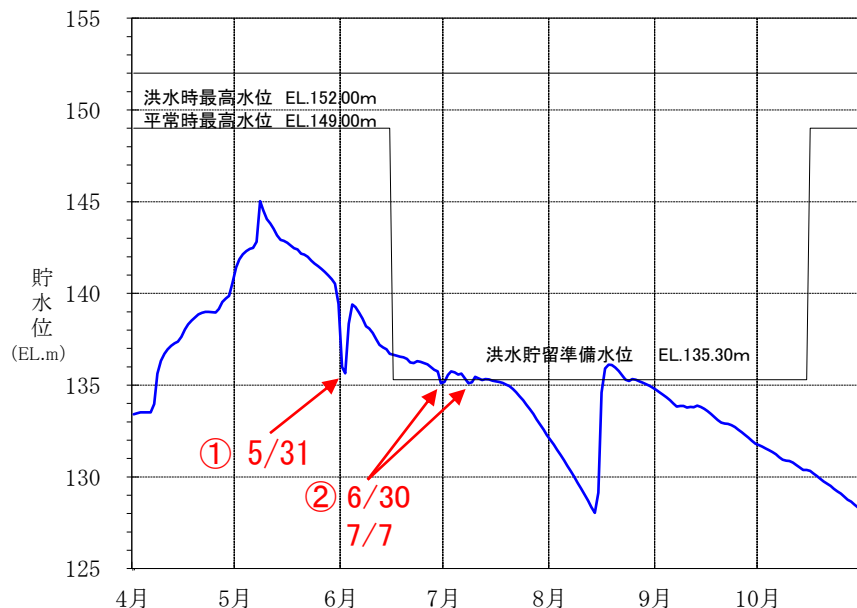
(1) 一庫ダムにおける貯水容量の確保

一庫ダムでは、平成30年7月豪雨において異常洪水時防災操作を行ったことなどを受け、「大きな洪水が予測された場合」には、予めダムの貯水位を下げる「事前放流」を行うことになっています（「回復可能テーブルを用いた事前放流」は令和元年9月から、「治水協定に基づく事前放流」は令和3年3月から）。

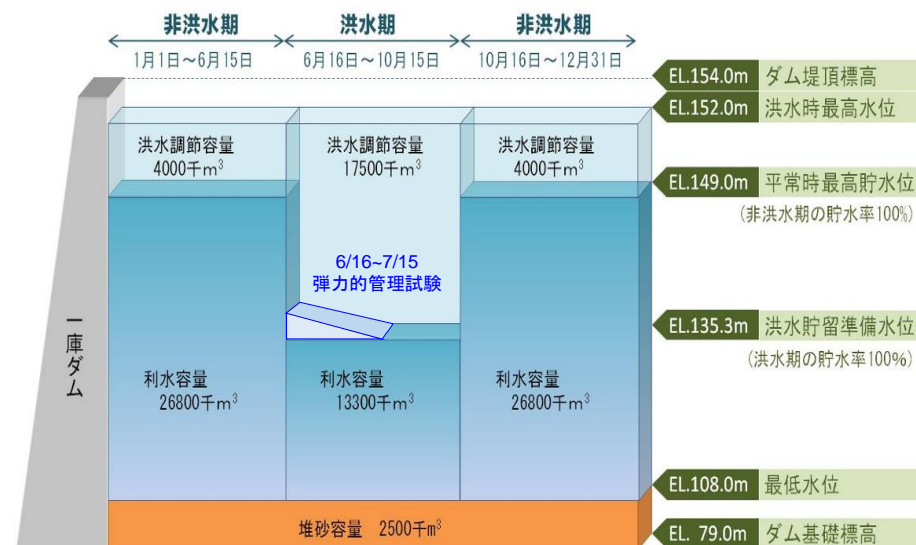
①令和5年5月31日には、大きな洪水が予測されたため、洪水期（6/16～10/15）に向けて貯水位を下げていく途中で、まだ高い貯水位であったところ、関係機関と調整を行い、貯水位を洪水前までに洪水貯留準備水位まで低下させ、洪水調節容量を確保しました。

②弾力的管理試験の期間中であった6月30日と7月7日に、降水量予測が「活用貯留水事前放流操作開始判断基準」に該当したため、貯水位を洪水貯留準備水位まで低下させ、洪水調節容量を確保しました。

一庫ダムの貯水位曲線(令和5年4月～10月)



一庫ダムの貯水池運用図



阪神東部（猪名川流域圏）地域総合治水推進計画

< 尼崎市における主要な取組み >

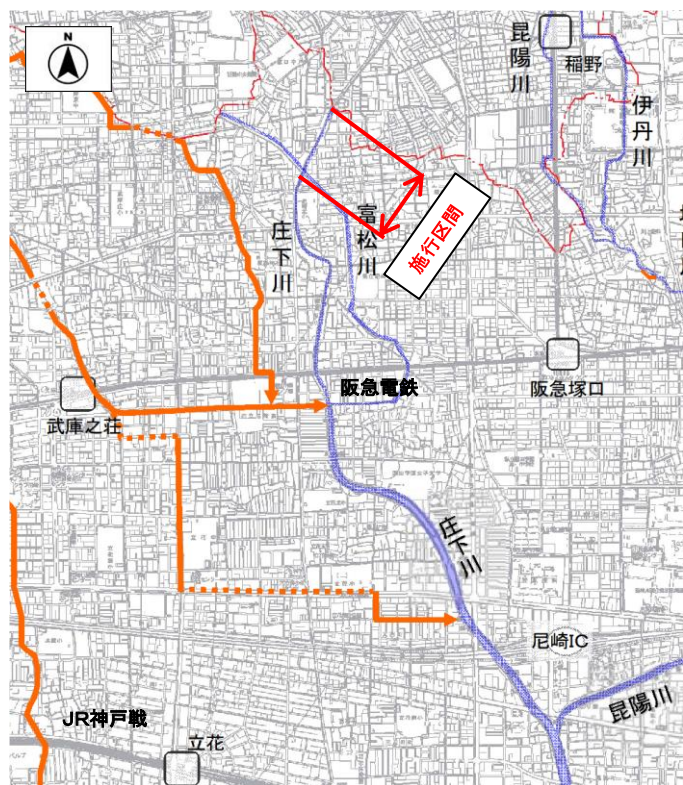
■河川下水道対策

(1) 河川対策

○市の中心部を流れる庄下川において、社会資本整備総合交付金事業により、老朽化した護岸の改修及び河床を掘り下げて断面を広げ洪水を流す能力を向上させる工事を実施しています。

○本工事は東富松橋から伊丹市境までの約318mの区間において、令和4年度から7年度にかけて実施しています。

位置図



着手前



施工状況

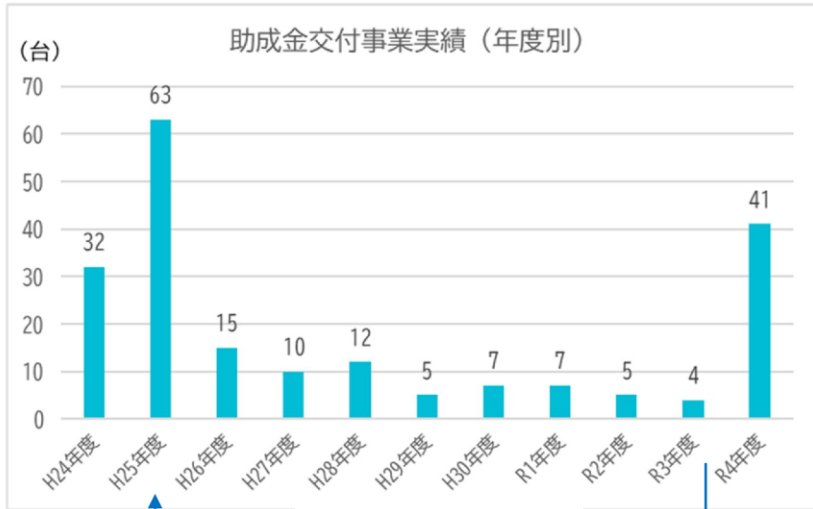




(2) 土地等の雨水貯留浸透機能

- 建物の屋根に降った雨を雨どいから集め、貯めるための雨水貯留タンクの設置に係る助成をしています。
- 地域で使えるコインによる還元や電子申請などにより、令和4年度以降は申請件数が増加しています。

【雨水貯留タンクの設置助成】



市報表紙掲載



制度拡充



(3) 浸水による被害の軽減に関する学習

○地域の防災力向上を図るため、地域における防災力向上講座による防災マップづくりを行っており、令和5年度末現在、全自主防災会75地区のうち73地区で完成しています。

○マップづくりは、①マップづくりや防災に係る講座、②各班に分かれてのまち歩き、③マップ素案の作成を基本にして実施しています。



【①講座】



【③マップ作成・校正】



【②まち歩き】



令和5年度 第2回 阪神西部（武庫川流域圏）
阪神東部（猪名川流域圏）地域総合治水推進協議会

地域総合治水推進計画に係る
伊丹市の取組みについて



◆伊丹市における下水道(雨水)の概要

【 地域総合治水推進計画 (1. 河川下水道対策) (2)下水道対策 】 ※伊丹市公共下水

◎計画降雨量(46.8mm/h)に対する施設整備を実施
《雨水ポンプの改築や更新、幹線管渠の整備》

◎面整備率(令和4年度末時点)

◆東部(猪名川流域)87.3%

◆西部(武庫川流域)75.0%

} 全域 83.9%

◆地域総合治水に係る伊丹市の主な取組み

※雨水貯留タンク設置助成

【 地域総合治水推進計画 : 2. 流域対策
6 その他の雨水貯留・浸透の取組 (2)各戸貯留 】

◎概要: 住宅等の雨水を貯留し、生活水として活用。
『雨水貯留タンク』の設置に際して購入費、工事費総額の1/2以内、3万円を上限に助成。

◎事業開始: 平成23年度～

◎助成件数: 令和4年度末現在
203件の助成

(内訳)

東部(猪名川流域) 132件

西部(武庫川流域) 71件



◎雨水の用途について

- (1)庭木・花壇への水やり
- (2)外構清掃等の節水対策
- (3)災害発生時の生活水活用(トイレ、清掃等)

◎近年の動向について

※事業開始当初に比して年々、問合せや申請件数が減少傾向にあった。(年数件程度の申請で推移)



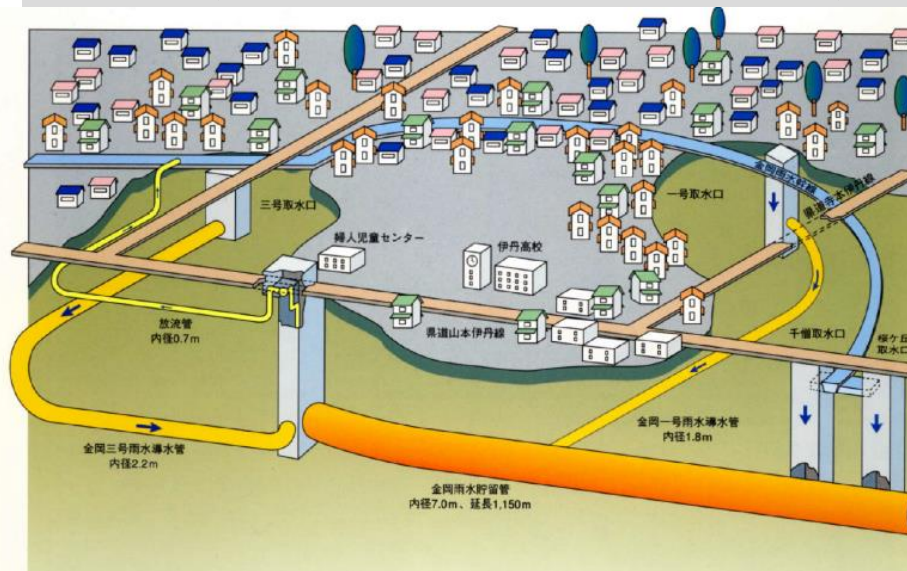
※令和6年1月1日に発生した能登半島地震に伴い、ライフラインが長期途絶したニュース報道から生活用水(非常用水)に対する市民の関心が高まり、問い合わせ件数が増加している。

◆地域総合治水計画に係るその他の取組み①

※金岡雨水貯留管 阪神東部(猪名川流域)地域

【 地域総合治水推進計画 :
2. 流域対策 6 その他の雨水貯留・浸透の取組 】

◎概要: 金岡雨水幹線(排水面積470ha)の越水防止対策として平成12年度に県道山本伊丹線の地下10mに直径7m、長さ1,150m、貯留容量4万 m^3 の雨水貯留管を整備。



◆地域総合治水計画に係るその他の取組み②

※瑞ヶ丘雨水調整池、瑞ヶ丘二号雨水調整池

阪神東部(猪名川流域)地域

- 【 地域総合治水推進計画 :
2. 流域対策
6 その他の雨水貯留・浸透の取組 】

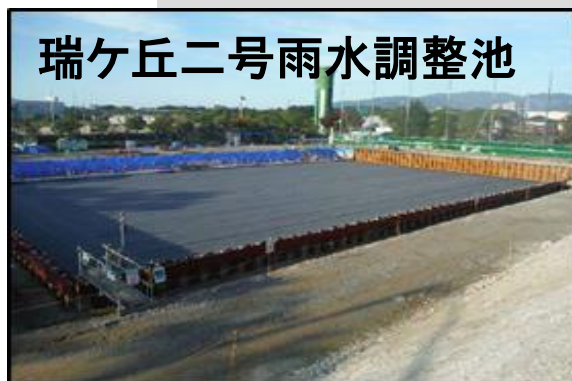


瑞ヶ丘雨水調整池

◎概要:平成16年度、計画降雨

(46.8mm/h)の対策として瑞ヶ丘野球場の地下に縦55m、横12m、高さ3.5mの瑞ヶ丘調整池を整備。また、平成26年9月の豪雨被害(96mm/h)を受け、

超過降雨対策として令和2年度に瑞ヶ丘二号雨水調整池(縦53m、横34m、高さ1.2m)を整備。合計最大貯留容量、約5,000m³を確保。



瑞ヶ丘二号雨水調整池

◆地域総合治水計画に係るその他の取組み③

※伊丹小学校雨水調整池 阪神東部(猪名川流域)地域

【 地域総合治水推進計画 :

2. 流域対策 1 学校・公園 校庭貯留(市立学校)・公園貯留 】

◎概要:平成26年9月の豪雨被害(96mm/h)を受け、令和元年度、超過降雨対策として伊丹小学校テニスコートの地下に縦48m、横8m、高さ4m、貯留容量1,500m³の雨水調整池を整備。



伊丹小学校雨水調整池

◆伊丹市新庁舎における雨水貯留について

※2022年11月開庁の新庁舎に雨水濾過装置
や雨水利用槽の他、雑水用の調整槽を整備

◎ 2025年3月市民(防災)広場を含めグランドオープンの市庁舎は敷地面積約2万 m^2 (排水エリア面積は11,565 m^2)。

◎排水エリア面積の内、8,605 m^2 は調整槽(700t)へ、また、2,960 m^2 は雨水利用槽(250t)に集水。【有効水深は1.5m】

※利用槽の雨水は、トイレ洗浄用や屋上緑化、外構植栽の灌水に利用。(衛生上、直接人が触れない利用が基本)

※市庁舎の浸水対策として当初の地盤高より40cm地上げ。

伊丹市庁舎



屋上緑化



阪神東部（猪名川川流域圏）地域総合治水推進計画

< 宝塚市における主要な取組み >



■雨水貯留施設設置助成金制度

1. 制度の目的

- 雨水の流出抑制及び有効活用を図り、良好な水循環型社会の創出と意識の高揚を図ること。

2. 助成金額

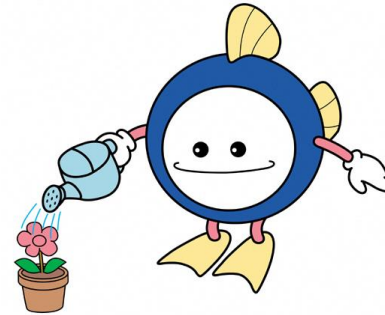
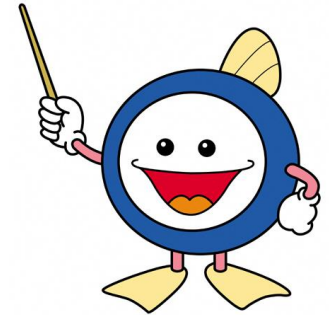
- 材料費及び施工費の合計の2分の1で、上限は30,000円

3. 設置助成条件

- 宝塚市内の戸建か集合住宅に居住であること
 - 容量が100リットル以上であること
 - 1棟につき1基限り（集合住宅は2基まで）
 - 新規設置であること
- ,,,etc

4. 貯留実績

- 設置数：79件
 - 貯留量：14,011L
- ※平成16年度から令和5年度の実績です。





■ 浸水による被害の軽減に関する学習

(1) 被害の軽減に関する学習

○地域防災力向上のため、ぼうさい出前講座の実施、地域の防災訓練への支援、地区防災計画や避難所運営マニュアルの策定支援などの取り組みを行っています。地区防災計画は令和5年度末現在、20まちづくり協議会のうち、9のまちづくり協議会で策定済みです。

ぼうさい出前講座



防災訓練



地区防災計画策定



阪神東部（猪名川流域圏）地域総合治水推進計画

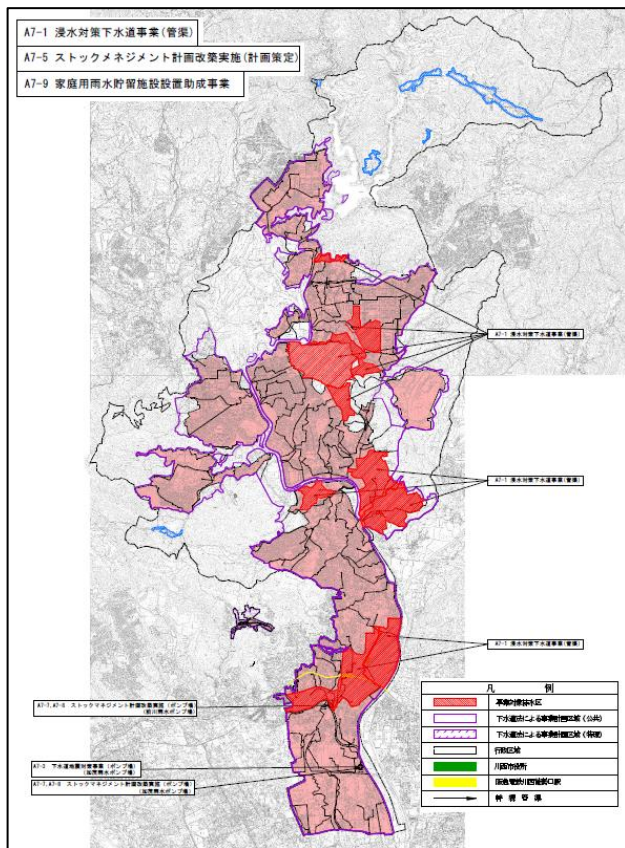
＜川西市における主要な取組み＞

(1) 浸水対策 (継続事業)

○川西市の公共下水道整備では、年超過確率1/7(51mm/h)対応の整備を進めています。

○川西市新下水道ビジョンに基づき、下水道事業計画における雨水幹線管渠の整備と、浸水実績箇所の雨水管渠の整備により浸水対策を進めています。

社会資本総合整備計画 (参考図面)



雨水幹線管渠の整備





雨水貯留タンクによる流出抑制

(1) 雨水貯留タンクの設置助成

- 雨水貯留タンクの設置費用の一部を補助することで、雨水の流出抑制及び有効利用の啓発と良好な水循環型社会の創出と意識の高揚を図るものです。
- 川西市では、平成25年度から実施し、令和6年3月1日現在で399基の雨水貯留タンクが設置され、総貯留量は約70m³となっています。

【実際に設置された雨水貯留タンク】



【市庁舎における助成制度の広報活動】



年度	設置数 (基)	総容量 (m3)
平成25年度	68	11.764
平成26年度	28	5.939
平成27年度	28	4.367
平成28年度	38	6.678
平成29年度	45	7.778
平成30年度	36	6.772
令和元年度	28	4.567
令和2年度	33	5.472
令和3年度	35	6.152
令和4年度	39	7.045
令和5年度	21	3.832
計	399	70.366

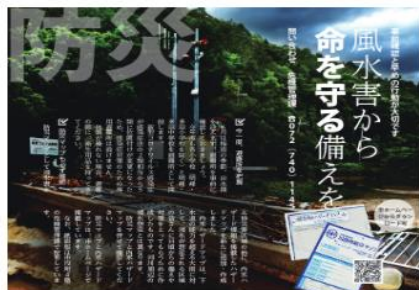
(1) 流域治水の自分事化への取組み

○市民全体が浸水害を日頃から自分事化する促しとして、下記の活動に取り組んでいます。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

流域治水の広報

○広報誌で水害・土砂災害に関する啓発活動を実施（1回6月号）



教育活動・計画策定

○自主防災組織等からの依頼による防災講話、マイ避難カードの作成啓発（21回、585人）



訓練活動

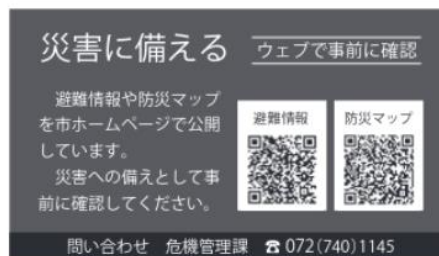
○ハザードマップの周知
○消防団と連携した水防訓練（1回、約100名）



事前防災で被害最小限に
水防訓練と連携した水防訓練（1回、約100名）

リスク情報等の提供

○避難に関する情報の周知（気象・防災情報の提供）



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

阪神東部（猪名川流域圏）地域総合治水推進計画

< 猪名川町における主要な取組み >

(1) 雨水貯留施設への補助金

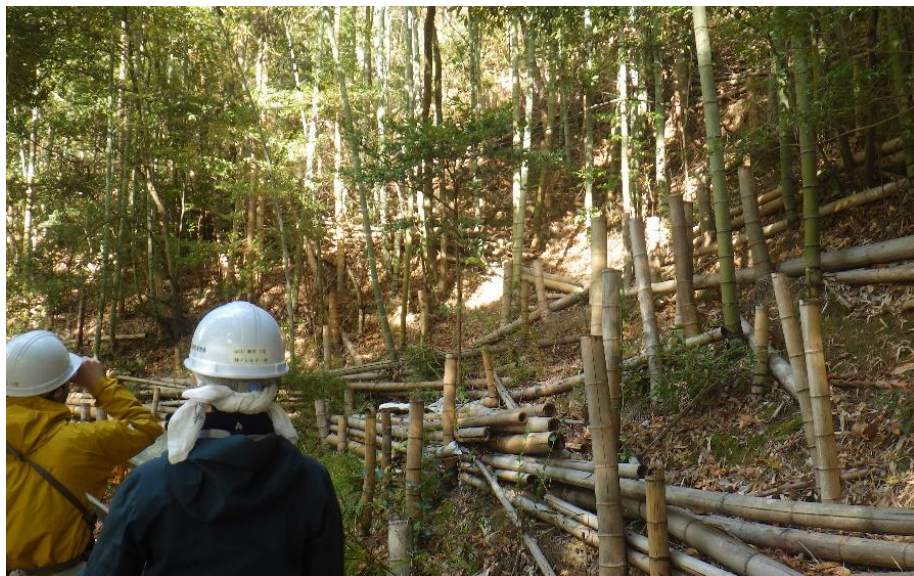
○猪名川町内における雨水の流出抑制及び有効利用を図り、良好な水循環型社会の創出と意識の高揚を図ることを目的に、雨水貯留施設を設置する者に対し、猪名川町雨水貯留施設設置助成金を交付しています。

○補助金額としては雨どい取付型の雨水貯留施設購入費及び設置費用の総額に2分の1を乗じて得た額です。ただし、1基について30,000円を限度としています。
浄化槽転用型の雨水貯留施設改造費用の総額に3分の2を乗じて得た額。ただし、1基について100,000円を限度としています。



(2) 森林の整備及び保全

○猪名川「彩の森」保全会が活動をすすめる対象の森林面積は7ha以上という広大な面積を有していますが、長年放置状態にあり、本来の里山としての機能や景観が失われ、竹林の侵入も進んでおります。本来の里山の姿を取り戻すべく、林道および活動拠点となる東屋の整備、放置竹林の整備、椎茸栽培によるクヌギ・コナラの萌芽更新と自然農法とを連携することで、持続可能な取り組みとなるように里山の保全活動に取り組んでいます。



(3) 要支援者の個別避難確保計画作成について

- 自主防災組織の住民を対象に、災害時の要避難者支援計画策定に関する研修を行っています。
- 今年度は、神戸学院大学教授の講演及びこうべ防災サポート代表によるワークショップを行い、災害時の要支援者個別避難計画に関する学習、意見共有を行いました。

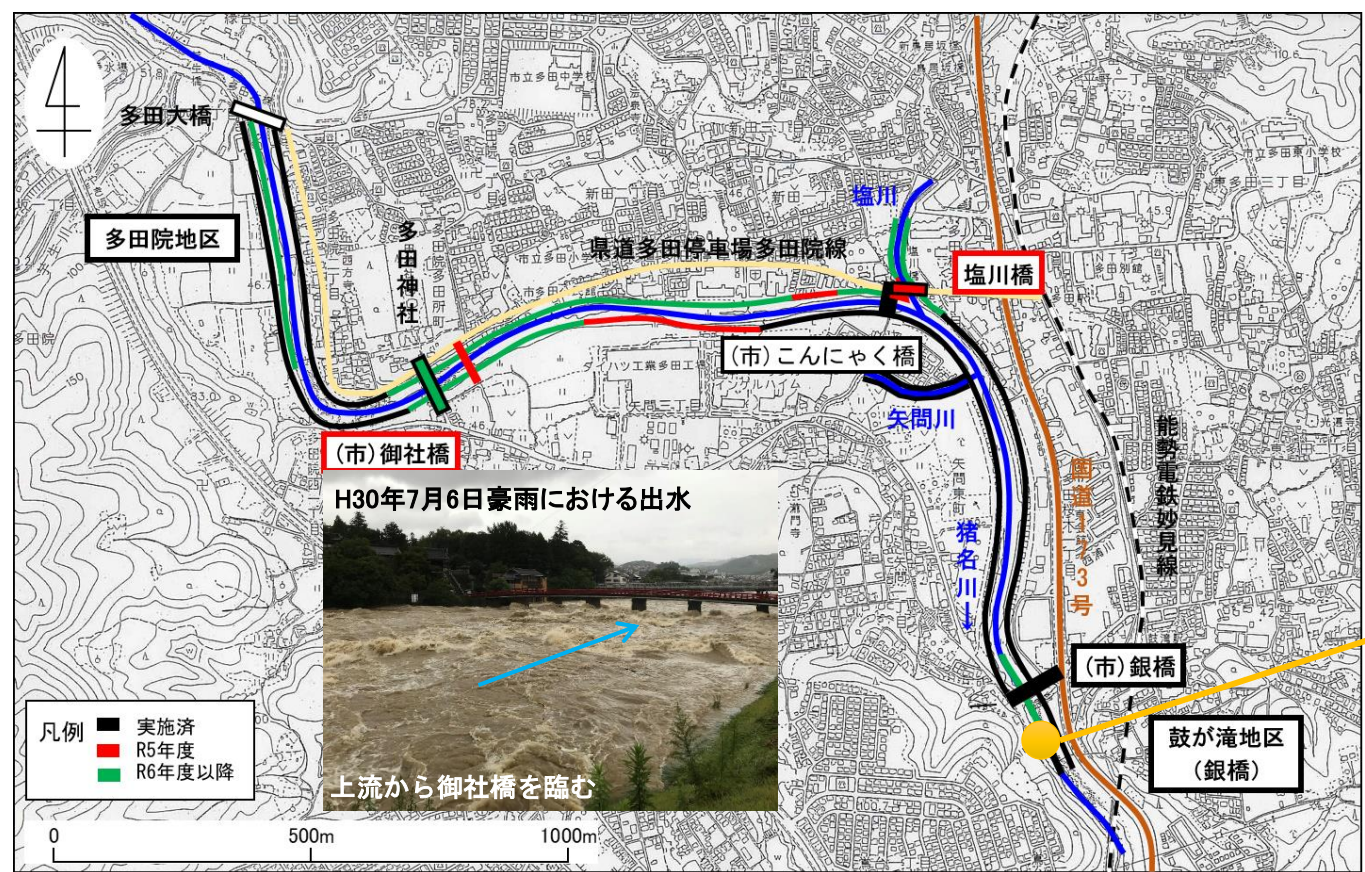


阪神東部（猪名川流域圏）地域総合治水推進計画

<兵庫県における主要な取組み>

(1) 河川改修事業

- 昭和42年7月洪水（戦後最大の被害）と同程度の洪水（概ね20年に1回の確率で発生する降雨による洪水）を安全に流下させることを目的に、河川整備計画（H28.3）に基づいた改修事業を推進しています。
- 川西市鼓が滝～多田院（延長2.9km）の区間において、護岸工事や橋梁の架替を進行中です。
- 令和5年度は、こんにやく橋上流の護岸工事に取り組み、御社橋の架替に向けて、仮橋設置工事に着手しました。支川の塩川では塩川橋の架替が完了し、供用しました。今後、下流の整備状況に合わせて銀橋開削に取り組みます。



(2) 災害に強い森づくり

- 保全の行き届いた森林は**土砂流出の抑制**や**斜面崩壊防止**に対して**有効**に機能するとともに、**水源涵養機能**、**水質浄化機能**や**保水機能**も有し、治水・利水・環境の面において重要な役割を果たします。
- 兵庫県では、県民総参加で取り組む仕組みとして平成18年度から「**県民緑税**」を導入し、「**災害に強い森づくり**」や「**防災・環境改善のための都市の緑化**」事業を推進しています。
- **令和3年度からは第4期計画（R7まで）がスタート**し、以下の事業を推進しています。

①. 緊急防災林事業



- ・間伐木を利用した土留工
- ・シカによる食害に強い樹種の植栽
- ・災害緩衝林の造成
- ・簡易流木止め施設の設置 等

④. 野生動物共生林整備



- ・バッファゾーン（見通しの良い地帯）の整備
- ・野生動物の生息地となる広葉樹林の整備等
- ・シカ食害地の広葉樹林再生等

②. 里山防災林整備



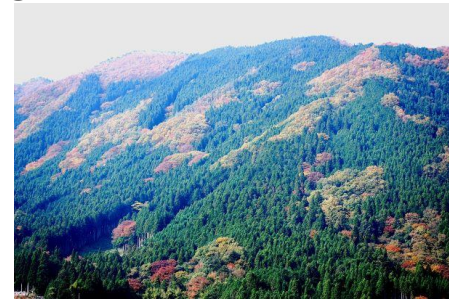
- ・人家裏山で倒木や崩壊の危険性が高い里山林の整備
- ・森林整備（本数調整伐、除伐、危険木除去、植栽）
- ・簡易防災施設の設置（土留工、柵工、水路工）
- ・管理歩道の開設、防災活動支援（防災マップ作成等）

⑤. 住民参画型森林整備



- ・地域住民の自発的な森林整備活動への支援
- ・森林整備、歩道、簡易防災施設設置に必要な資機材購入費の支援
- ・枯損木や大径木等の伐採に係る委託費

③. 針葉樹林と広葉樹林の混交整備



- ・広葉樹の植栽
- ・作業道の整備
- ・シカ防護柵の設置等

⑥. 都市山防災林整備



- ・六甲山系の森林整備
- ・広葉樹の本数調整伐等
- ・伐倒木を利用した土留工
- ・倒木の危険性が高い大径木の伐採

(3) 兵庫県CGハザードマップのリニューアル

- 兵庫県CGハザードマップは、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域などを示す「ハザードマップ」、水位など災害時の「リアルタイム情報」、過去の災害情報など「防災学習情報」を1つに集約した、平常時・災害時に利用できる防災ポータルサイトです。
- しかし、「掲載情報が多く閲覧しづらい」、「地域の災害情報が検索しにくい」等の意見がありました。
- そこで、CGハザードマップの①レイアウトを刷新、②国のハザードマップを組み込み、③検索システムの改良など、システム改善に取り組み、令和5年10月にリニューアルし、さらなる普及啓発を行います。



C.G.ハザードマップ 2.0
兵庫県C.G.ハザードマップ(自然災害対策情報ポータルサイト)

過去 に学ぶ
Past
防災学習
アーカイブス
これまでに兵庫県内で起きた自然災害の記録や防災に役立つ情報から学ぶ

今 を知る
Now
リアルタイム
情報
天気や川の様子、鉄道の運行状況などの「いま」をチェック!

未来 に備える
Future
ハザードマップ
大雨や津波などのときに、どこにどれくらいの危険があるかを地図で確認!

モバイルサイトはこちら
二次元コードをお読み下さい。
(一部未対応の機種があります)

情報一覧を表示
(旧バージョン画面)

例 神戸市中央区下山手通/兵庫県庁 検索

兵庫県
Hyogo Prefecture

■ 浸水による被害の軽減に関する学習

(4) バス車外広告による兵庫県CGハザードマップの普及・啓発

- 今後、気候変動による影響で降雨・洪水の量・発生頻度が増加するとされており、**県民の防災意識の向上が急務**です。
- 阪神間には多くのバス事業者が走行している地域特性を活用して、それら**バスへの車外広告掲載による一斉広報**により、多くの人に**兵庫県CGハザードマップ**を認知・活用してもらうことにより、災害時における**県民の安全性の確保につなげます**。(R6年度実施予定)



イメージ



イメージ

■ 浸水による被害の軽減に関する学習

(5) 模型を使った出前講座等の実施

○ 模型を使った出前講座や研修、より解りやすい教材の作成を行うなど、**浸水による被害の軽減に関する学習の機会拡大に取り組む。**



模型を使った出前講座(パントリー神戸青少年科学館)



総合治水展(県立人と自然の博物館)



高校生向け出前講座(宝塚市内砂防えん堤) 5